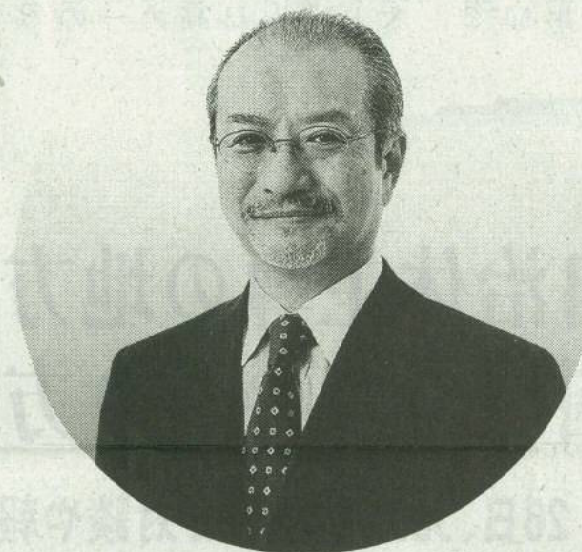


ナゴヤファッションコンテスト2014

ナゴヤファッション協会会長

滝 茂夫



ナゴヤファッション協会は、1987年に当地域のファッション関係業界の活性化と発展及び生活文化の向上などを目的として設立され、セミナーを通じたファッション情報提供事業や人材育成事業などを行ってまいりました。

なかでも「ナゴヤファッションコンテスト」は、ファッションを志す学生やクリエイター達から注目されるコンテストのひとつに数えられ、国内外のファッション業界へ優れた人材を輩出しています。34回目を迎える今年は、明日の最終公開審査会において、一次審査で選ばれた33作品のショー形式による最終審査を行い、グランプリを初めとした各賞を決定します。

当協会では、若手クリエイターの発表の場・機会の創出に力を入

次世代担う若手育成 ファッション産業振興へ

れており、今年のコンテストの受賞・優秀作品は名古屋・栄の「ラシック」や国登録有形文化財「名古屋陶磁器会館」にて展示いたします。また、南大津通で開催されるファッションイベント「栄ランウェイ」へも参加します。こうした企業・学校・団体との多様なコラボレーションを通じて、ファッション産業の振興や次世代を担うデザイナーの育成に努めています。

繊維関連の企業だけではなく、ファッションに関連する靴・化粧品・アクセサリー等の製造・卸・小売企業、教育・行政機関など、幅広い会員から構成される当協会の特色を生かし、当地域のファッション風土の向上に努めてまいりますので、今後とも、一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

企画・制作 中部経済新聞 企画開発局 広告部

「ナゴヤファッションコンテスト」はナゴヤファッション実行委員会が主催し、優れた人材の発掘と地域のファッション産業の活性化などを目的に1982年に始まった。使用する素材などの規定がなく、自由な発想で制作できることが特徴だ。

作品ジャンルはレディス、メンズ、キッズの3カテゴリー。最終公開審査会に臨む33点の内訳はレディス26、メンズ4、キッズ3点となっている。

同実行委員会によると、ことしの応募作品は「昨年に引き続

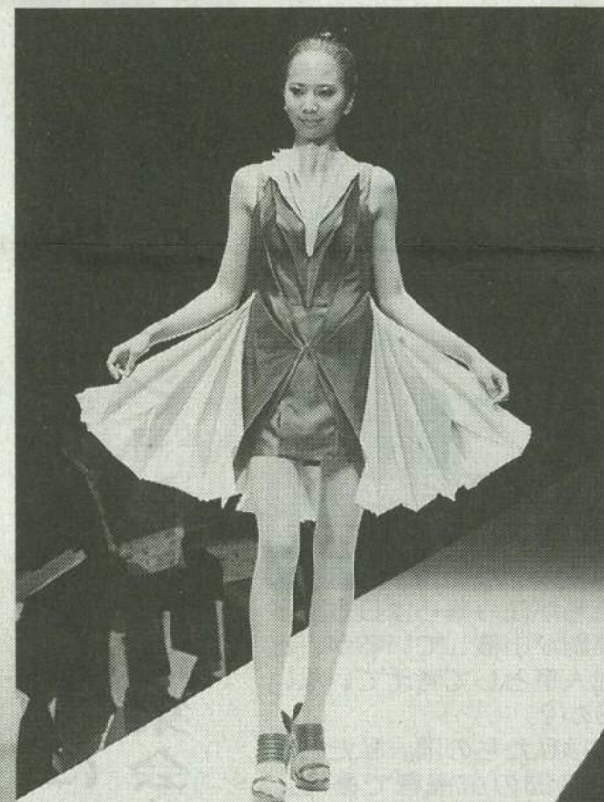
き色、柄が抱負な作品がそろつた。民族衣装やモスクから着想を得たという多色使いのものも見られた」。また、会社員や留

賞各1人、奨励賞若干名。当日は会場ロビーで、審査員の中野裕通氏らのコレクションを展示する。

また、24日から30日までは名古屋市中区の専門店「ラシック」1階、サージュで、10月7日から13日までは名古屋市中区の「名古屋陶磁器会館」で、それぞれ受賞作品を展示する。10月26日には、名古屋市中区の南大津通りの歩行者天国で開催されるファッションショー「SAKAE RUNWAY 2014」に参加し、一般市民に最先端のファッションを紹介する。

自由な発想33点 栄誉めざし競う

あす最終審査 GP 決定



昨年のグランプリ作品（写真左）と昨年の受賞作品

